

## 第8次熊本県保健医療計画圏域編 取組状況整理表

### 【芦北保健医療圏】

芦北圏域では、取り組むべき課題として下記の9項目を設定しました。

これらの課題に対して、芦北圏域の22団体より令和6年度の実施状況の報告がありました。

1. 県境医療連携
2. 水俣病対策
3. 生活習慣病（糖尿病を含む）の発症予防と重症予防
4. 外来医療に係る医療提供体制の確保
5. 在宅医療
6. 救急医療
7. 災害保健医療福祉
8. 新興感染症の発生・まん延時における医療
9. 歯科保健医療

第8次熊本県保健医療計画圏域編 取組状況整理表

【芦北保健医療圏】

(1) 県境医療連携

【現状と課題】 ○芦北圏域は、鹿児島県北部の出水保健医療機関及び始良・伊佐保健医療機関と隣接し、管内の地域医療支援病院である国保水俣市立総合医療センターの令和4年度(2022年度)における全紹介患者のうち23%が両圏域からの照会となっており、また、救急患者の8%が両圏域からの患者であるなど、医療提供においても密接に連携しています。

○今後も地域住民の健康と生命を守るため、これらの圏域との医療連携体制を維持、充実していく必要があります。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○地域医療連携懇話会等の機会を通じて行政、医師会等関係機関の更なる連携・協力体制構築を図り、迅速な受入体制のネットワーク化、救急搬送症例の時間短縮を図ります。	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療連携講話会等へ参加し、関係機関の更なる連携・協力体制構築に努めています。</li> </ul> <p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院運営委員会や地域医療連携懇話会に参加し、出水地域や伊佐地域の関係機関等との連携強化に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域医療連携懇話会等へ参加し、関係機関の更なる連携・協力体制の構築を図ります。</li> <li>・今後も引き続き、地域医療支援病院運営委員会や地域医療連携強化に努めていきます。</li> </ul>
○国保水俣市立総合医療センターにおいては、地域の急性期医療を支える中核病院として、二次医療提供体制を維持、強化していくとともに、適切な紹介・逆紹介により両圏域の住民の健康を地域の関係機関全体で守る体制を維持します。	<p>[国保水俣市立総合医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国保水俣市立総合医療センターではR6年6月21日に地域医療連携懇話会を実施。水俣芦北地域のみならず、北薩地域の医療機関、行政、救急、介護施設等と意見交換を行い今後の連携を確認しました。併せて、地域医療支援病院運営委員会を年4回開催しました。患者受け入れ状況（紹介逆紹介含む）や施設開放状況、救急医療の提供状況を行いました。</li> </ul> <p>[熊本県看護協会水俣芦北支部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/21国保水俣市立総合医療センター主催の地域連携懇話会にて、水俣・芦北・出水地区の看護管理者との交流を行い連携強化に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、北薩地域を含む関係機関との連携を推進し、両圏域の住民の健康を地域の関係機関全体で守る体制を維持します。なお、医療連携において、ICTの活用が推進され画像等を共有するツールとしてくまもとメディカルネットワークの活用も普及し利便性が高まっています。一方でくまもとメディカルネットワークは原則熊本県の医療機関を対象としていることから、北薩地域の医療機関では導入を希望しても初期費用等の経費がネックとなっています。今後の連携にはICTの活用は欠かせないものであることから、熊本県としてもくまもとメディカルネットワークの県境地域他県）への普及拡大について検討いただきたいです。</li> <li>・交流することで顔の見える関係づくりができました。次年度も継続して開催予定です。</li> </ul>
	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年7月29日水俣保健所において、出水保健所より4名の職員を迎え事業打合せ会を開催しました。両保健所より協議事項を持ち寄り、状況報告した後、活発な意見交換がなされました。県境を挟んだ保健所のそれぞれの考えが共有でき、有意義な会議となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の中で、今後も毎年1回、この事業打合せ会を開催し、お互いの情報共有、連携を図っていくこととしました。</li> </ul>

## (2) 水俣病対策

【現状と課題】 ○「公害の原点」と言われる水俣病は、昭和31年(1956年) 5月1日の公式確認から、令和5年(2023年)で67年が経過しました。国と県では、これまで地域と連携して進められてきた環境復元への取組、健康被害への対応や健康不安解消等の取組に加え、水俣病関西訴訟最高裁判決(平成16年10月)を踏まえ、水俣病被害者及びその家族、地域住民を対象に「安心して暮らせる地域社会の実現」を目指した水俣病対策に取り組んでいます。当圏域においても、これらの中で特に地域のもやい直しや水俣病被害者支援等に取り組んでいます。

○今般、水俣病被害者の高齢化に伴う身体機能の低下や介護を行う家族の高齢化に伴い、医療ケアや介護の必要性が高まっており、患者一人ひとりに寄り添った支援が必要となっています。

取組の方向性	取組内容(令和6年度)	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○在宅療養中の水俣病認定患者の日常生活指導や保健指導を行うとともに、関係機関と連携しながら安心して在宅療養ができるよう支援を行います。また、各種相談にも対応し、日常生活における問題や健康上の不安の軽減及び解消に努めていきます。	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣病被認定者家庭療養指導事業にて家庭訪問を実施しました。また、胎児性水俣病患者等相談対応業務について、電話及び来所による相談対応を下記のとおり実施しました。(令和6年12月末時点)</li> <li>訪問実績：延べ441件</li> <li>相談対応実績：延べ75件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭訪問や相談対応を行う中で、在宅療養中の水俣病認定患者の課題の把握及び課題解決のための支援を関係機関と連携しながら行うことができました。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各会員医療機関にて、日常診療等を通じて保健指導及び診療を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、各会員医療機関にて、日常診療等を通じて保健指導及び診療を行います。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理事業において、健康診査の特定健診と併せ、日常生活及び神経症状に関する問診と上乘せして血液検査を実施しました。(対象者は昭和43年12月31日以前に本市に居住歴のある人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、在宅療養中の水俣病認定患者の日常生活指導や保健指導等の実施はありません。</li> <li>左記の実施により、対象者の健康上の不安の軽減と解消を図ることができました。ただし、新型コロナウイルス感染症等の影響による受診控え等もあり、受診者が伸びない状況であるため、今後も、より多くの対象者の検査を実施するためにも、事業を継続的に実施し、集団検診の全体的な受診率の向上を図っていく必要があります。</li> </ul>
○水俣・芦北地域水俣病被害者等保健福祉ネットワークを通じて、「安心して暮らせる地域づくり」の更なる推進に取り組めます。	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣病被害者等保健福祉ネットワーク(水俣病保健課主管/水俣市社会福祉事業団に委託)の会議等に下記のとおり出席しました。(令和6年12月末時点)</li> <li>企画部会：1回</li> <li>ISUフェスティバル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議に参加することで、関係機関と共に保健福祉における課題の共有及び課題解決のための取組みについて検討することができました。次年度も引き続き会議等へ参加し「安心して暮らせる地域づくり」の更なる推進に取り組んでいきます。</li> </ul>

[水俣市]

・ネットワーク会議等を通じ、関係機関との情報の共有、意見交換を行いました。

・保健福祉サービス等に関する情報提供等が行えるよう、今後も関係機関との連携を図ります。

[水俣市芦北郡医師会]

・水俣・芦北地域水俣病被害者等保健福祉ネットワークに参画し、関係機関等との連携強化に努めました。

・今後も引き続き、水俣・芦北地域水俣病被害者等保健福祉ネットワークに参画し、関係機関等との連携強化に努めます。

### (3) 生活習慣病（糖尿病を含む）の発症予防と重症予防

- 【現状と課題】 ○令和3年度（2021年度）国保の特定健康診査及び特定保健指導の実施率は年々向上しており、いずれも県平均より高い状況ですが、メタボリックシンドローム該当者の減少率（前年度比）は低下傾向にあります。
- 令和2年度（2020年度）の特定健診結果（国保＋被用者保険）では、HbA1cが5.6%以上の者の割合やHbA1cが6.5%以上で未治療者の割合は県平均以下ですが、増加傾向にあります。
- 令和4年（2022年）5月診療分（国保）の糖尿病受診率及び透析率は3市町とも県内上位であり、令和3年度（2021年度）の新規透析患者の約4割が糖尿病性腎症によるものであることから、糖尿病の重症化及び合併症予防が必要です。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○若年層向けに、SNS等を利用して、より良い生活習慣を形成するための情報発信に取り組みます。	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界糖尿病デーや健康増進普及月間に合わせて、芦北地域振興局Xに投稿し、情報発信を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発を行うことができたが、健康について意識するためには発信回数が少なかったと考えます。今後は、月間時なく、定期的な発信を行います。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市公室ラインやホームページ等を利用し、生活習慣病予防や健康づくりに関する情報発信を行いました。また、集団検診の申込み方法を新たにネット申込みを導入し、若年層の検診受診促進へ取り組みました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の特定健診受診率は40.5%で特に40・50代の受診者が少ない課題があります。また30代検診において課題です。次年度以降も引き続き若年層への効果的なアプローチを検討し取り組んでいきたいと思えます。</li> </ul>
	<p>[芦北町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌を活用し町民全体への受診勧奨を実施し、年度末年齢20歳、40歳の人を対象に個別に受診の必要性や生活習慣病について情報提供を行い、併せて検診の受診勧奨を実施しました。</li> <li>重症化予防の視点から継続した検診受診ができるよう、年度末に次年度の健診の受診勧奨を実施しました。</li> <li>必要に応じて検診結果を基に結果説明会や家庭訪問等を実施し、重症化予防のための保健指導・栄養指導を実施しました。</li> <li>乳幼児健診や子育て相談時に、乳幼児期からの食生活の重要性について栄養指導や情報提供を行いました。</li> <li>小学5年生の児童と、その保護者を対象に生活習慣病検診を行いました。検診結果に基づき結果説明と保健指導、栄養指導を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率向上に向けて、検診受診勧奨の方法や対象者の選定をどうするか、十分に分析等を行いながら実施する必要があります。</li> <li>個々の状況に応じ継続した保健指導・栄養指導に努めます。必要時、医療機関との情報共有を行いながら指導を継続します。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町の健康まつり等に参加し、生活習慣病に関するポスターを展示し情報発信に努めました。また、健康相談も実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、各市町の健康まつり等に参加し、生活習慣病等に関する情報発信に努めます。</li> </ul>

	<p>[栄養士会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における食育相談事業として依頼のあった保育園の職員や園児に対して、会員が講話・栄養相談を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は年1回でしたが今年度は2回の依頼がありました。今後ともご依頼に応じて継続していく予定です。</li> </ul>
<p>○地域保健と職域保健の関係機関・団体が連携し、事業所の行う健康教育への支援や健康経営の先進事例の紹介等を通じて健康経営への取組を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣芦北地域・職域連携推進協議会（芦北圏域糖尿病対策地域連携会議と合同で実施）を開催し、関係者との情報共有、連携体制の整備を行いました。・国保ヘルスアップ支援事業にて水俣商工会議所や3つの事業所に訪問を行い、健康経営や保健所の活動の周知を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・職域連携推進協議会を通して、関係者との管内の現状把握や情報共有ができました。引き続き、協議会を通して関係者との情報共有を図り、連携体制の充実に努めます。</li> <li>・職域分野への働きかけを行い、健康経営の啓発を行いましたが、健康教育の実施を希望する事業所はありませんでした。今後も職域分野への介入を継続し、事業所が健康経営に取組めるような支援や健康教育の実施に取り組めます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市健康づくり条例に10月の健診（検診）月間を新たに定め、地域の医療・保健の関係機関や各種地域の団体と「第2期いきいき・みなまたヘルスプラン」の理念のもと連携し取り組みました。また、健康まつりを開催し健康相談のブース設置や健康講和などを行い、各団体と共同し取り組みを行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康づくりを促進するため、まず検診の受診勧奨を強化する必要があります。各地域の団体と市の課題や取組みの方向性を共有し、今後も各団体と連携しながら、それぞれの団体の取組みにおいても共同で取り組みたいと思います。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣・芦北地域・職域連携推進会議に参画し、関係機関等との連携強化に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、水俣・芦北ちいき・職域連携推進会議に参画し、関係機関等との連携強化に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や食事療法の確認と指導による発症予防と重症化防止に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物療法だけの指導で終わっています。</li> </ul>
	<p>[熊本県看護協会水俣芦北支部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3土曜日 生協くまもにて「まちの保健室」開催 血圧測定・血管年齢測定、保健指導、健康相談を行いました。・11/24水俣市健康まつりにて、血圧測定・血管年齢測定、保健指導、健康相談を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの保健室は7～10月開催61名の参加がありました。次年度も計画して実施する予定です。</li> </ul>
	<p>[八代・水俣地域産業保健センター]</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年9月に行われる衛生管理講習会において、日頃の地域産業保健活動について説明し、健康経営につながる話をしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦北・水俣地域の事業場からどれだけ来られているか分からないが、次年度以降も衛生管理講習会において健康経営の意義を高めていきます。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北郡市歯科医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦北水俣地域歯科保健連絡会主催で水俣市及び芦北町それぞれで市民向けの講話を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数を増やすためには単独でなく他の事業とタイアップして実施する方が良いのではないか、と思います。</li> </ul>
	<p>[栄養士会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市健康まつりにおいて栄養相談コーナーを実施。不足しがちな野菜の摂取についてフードモデルや実際の野菜を用いて調理の工夫等も紹介しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードモデルやリーフレットが好評で、気軽に栄養相談ができるよう工夫しました。次年度以降はまだ参加していない栄養士会会員にも呼びかけ活発に取り組んでいきます。</li> </ul>
<p>○糖尿病の治療や療養指導に携わる専門職と行政が連携して、重症化を予防します。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦北圏域糖尿病対策地域連携会議（水俣芦北地域・職域連携推進協議会と合同で実施）を開催し、関係者との情報共有、連携体制の整備を行いました。・糖尿病ネットワーク研究会を開催し、関係者間で管内事例の検討や最新の知見・情報を得る機会としました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との管内の現状把握や情報共有、資質向上につなげることができました。引き続き、糖尿病対策地域連携会議を開催し、連携体制を維持し、地域としての糖尿病対策に取り組めるよう体制整備を行います。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との連携ツールとして糖尿病連絡票を活用しており、対応医療機関への訪問や説明会の実施等を通して連携体制を構築しています。また、他機関が実施する医療機関も対象とした研修会等に参加しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病連絡票の活用実績の低下があり、連絡票に限らず医療機関との連携の機会や体制整備に取り組みたいと思います。</li> </ul>
	<p>[芦北町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CKD対象者は、管理栄養士が指導を行い新規透析導入にならないように努めました。・生活習慣病検診や特定健診の結果に基づき、糖尿病重症化予防の対象者に対して、保健指導、栄養指導を実施しました。また、要精検者や要医療者に対して医療機関への受診勧奨を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eGFRの値が低く、蛋白尿があっても自覚症状がない人が多いため、早く受診してもらうための取り組みが必要です。・健診の結果説明会や要精検者へ受診勧奨後も、訪問指導等を通じて継続した重症化予防のための取り組みが必要です。</li> </ul>
	<p>[津奈木町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果から、熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき糖尿病の発症、重症化・合併症予防に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、関係機関と連携を図りながら糖尿病の発症、重症化・合併症予防に努めます。</li> </ul>

<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病連絡票を用いて、各医療機関と行政（水俣市）が連携し、重症化予防に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、糖尿病連絡票を用いて、各医療機関と行政の連携強化に努めます。</li> </ul>
<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬指導で病識を高め重症化を予防しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療法と食事療法の次に薬物療法があることを認識します。薬剤師会における研修会を開催します。</li> </ul>
<p>[国保水俣市立総合医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病習慣に係るイベントの実施として、展示、講演会、健康・栄養相談を実施しました。・糖尿病ウォークを令和6年11月23日に開催しました。（参加者12名、スタッフ15名）</li> <li>・あしきた健康フェアに参加し、血糖測定、糖尿病に関する相談に対応しました。</li> <li>・糖尿病教室を開催しました。（院内）・糖尿病カンファレンスを実施します。（予定）</li> </ul> <p>[熊本県看護協会水俣芦北支部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/24水俣市健康まつりにて、血糖測定、糖尿病指導を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、啓発活動等を実施します。新型コロナウイルス感染症の影響で休止、縮小していたイベントなどについて、広く参加を募るなども検討していきます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・81名参加あり、次年度も継続して参加する予定です。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北郡市歯科医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県歯科医師会主催の研修会に積極的に参加します。</li> </ul>
<p>[栄養士会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦北圏域糖尿病対策地域連携会議に関係機関として参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会をとらえて、生活習慣病の予防や改善のための食事療法について、啓発活動や栄養相談を実施します。</li> </ul>

#### (4) 外来医療に係る医療提供体制の確保

【現状と課題】 ○芦北圏域では、28医療機関（令和5年4月1日現在）が在宅当番医制に参加し、地域の初期救急を担っています。

○学校医については、基本的に1校あたり内科、眼科、耳鼻科の計3人の学校医が配置されています。産業医については、ストレスチェックや長時間勤務者への対応が必要になったことに加え、働き方改革関連法により機能強化が図られ、健康相談の実施等、より一層の役割が求められています。さらに、乳幼児健診を実施する医師の確保が課題となっています。

○高齢化の進展に伴い通院困難な要介護度の高い高齢者が増加し、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう在宅医療の充実が求められています。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○一般診療所を新規開業する医師に対して、外来医療機能について「初期救急（在宅当番医）」「学校医」「予防接種」「産業医」「在宅医療」に加え「乳幼児健診」の6項目に関する協力の意向を確認し、より多くの外来機能を担う医師の確保に努めます。	[水俣市] ・水俣市芦北郡医師会主催で小児専門医である水俣市立総合医療センター小児科医と水俣圏域の医療機関との小児医療やくまもとメディカルネットワークの活用に係る研修会を2回実施（1回目：9月、2回目：11月）しました。	・成果については、今後、医師会から提出予定の事業実施報告書で把握していきます。次年度においては、熊本大学病院の小児専門医と水俣圏域の医療機関との小児医療やくまもとメディカルネットワークの活用についての研修会を開催し、将来にわたって持続可能な小児医療体制の構築を目指します。
	[水俣市芦北郡医師会] ・医療機関の新規開業はありませんでしたが、各医療機関及び各会員に依頼し、「初期救急」「学校医」「予防接種」「産業医」「在宅医療」「乳幼児健診」への協力を努めました。	・今後も引き続き、新規開業医師への「初期救急」「学校医」「予防接種」「産業医」「在宅医療」「乳幼児健診」への協力意向を確認するとともに、各医療機関及び各会員に依頼し、「初期救急」「学校医」「予防接種」「産業医」「在宅医療」「乳幼児健診」への協力を努めます。
	[水俣市芦北薬剤師会] ・特になし	・薬剤師の意識向上をはかります。
○水俣市芦北郡医師会に設置している「水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センター」と「芦北圏域在宅医療サポートセンター」を中心に、在宅医療の提供体制の充実を目指します。	[水俣市] ・在宅医療体制の充実のため、「水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センター」と連携し、会議や講演会を実施しました。	・在宅医療・介護の体制の充実のため、今後も関係者会議や講演会を実施していきます。
	[水俣市芦北郡医師会] ・水俣在宅ネットワーク会議等を通じて、関係機関・職種と連携し、在宅医療提供体制の充実に努めました。	・今後も引き続き、水俣在宅ネットワーク会議等を通じて、関係機関・職種と連携し、在宅医療提供体制の充実に努めます。
	[水俣市芦北薬剤師会] ・特になし	・医師会の後方支援が出来るように考えます。

## (5) 在宅医療

### 【現状と課題】

○芦北圏域では、水俣市芦北郡医師会に設置の水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センター、芦北圏域在宅医療サポートセンターにおいて在宅医療・介護連携に関わる事業を実施しています。また、水俣芦北圏域在宅医療・介護連携推進会議、水俣・芦北地域在宅医療連携体制検討地域会議、地域ケア会議、水俣在宅ネットワーク会議等を通じて、関係機関の取組や課題等の共有を図っています。

○圏域の医療資源は、在宅療養支援病院2か所、在宅療養支援診療所7か所、在宅療養後方支援病院1か所、訪問看護ステーション8か所、在宅療養歯科診療所4か所、在宅患者訪問薬剤管理指導薬局25か所が整備されています。住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう在宅医療・介護に関わる関係機関の多職種連携をより一層推進することが必要です。さらに、今後は、急変時の対応において在宅療養者の意思に沿った対応ができるよう、在宅医療・介護と消防の連携が必要です。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センター、芦北圏域在宅医療サポートセンターの取組を維持し、更なる在宅医療・介護の連携体制強化を図ります。また、各種会議等を通じて地域の医療・介護・福祉・行政等関係機関とより一層の連携を図り、課題等を共有します。	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターと連携し、在宅医療連携体制検討地域会議を行いました。令和6年度も共催で行い、在宅医療・介護に関わる様々な関係機関等の取組や課題等を共有しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターと連携し、在宅医療連携体制検討地域会議を開催します。また、地域の医療・介護・福祉・行政等と連携し、課題解決に向けて取り組みます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議を通して、地域課題の共有、改善策の検討を行いました。また、処遇困難事例に対して、医療・介護等関係機関と連携した対応ができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身寄りのない人、独居高齢者への対応については、引き続き支援ガイドラインの作成等仕組みづくりを検討していきます。</li> </ul>
	<p>[芦北町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターが中心となって、研修会会議等への参加や各種相談を行うことで関係機関の連携を図り、在宅療養者への支援に繋がりました。</li> <li>在宅医療に関するポスター掲示や講演会の開催、人生会議ノート等の周知を行うことで、啓発を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関等との連携を強化し、在宅療養者の支援に努めます。</li> <li>広報誌等を活用し、周知啓発を行います。</li> </ul>
	<p>[津奈木町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣芦北在宅ネットワーク会議や水俣芦北圏域在宅医療・介護連携推進会議、地域会議合同会議を開催しました。</li> <li>また、各市町の地域ケア会議や連絡会議等に参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記会議の開催により、医師や看護婦、薬剤師、ケアマネージャー、介護士、生活相談員、行政など多職種との連携を図ることができ、情報や課題等を共有することができました。次年度以降も継続して取り組んでいきます。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣芦北圏域在宅医療検討会議や在宅医療委員会を開催し、在宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、水俣芦北圏域在宅医療検討会議や在宅医療委員</li> </ul>

<p>医療・介護の連携体制の強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町の地域ケア会議や介護支援専門員会議等に参画し、課題共有や関係機関等との連携強化に努めました。</li> </ul>	<p>会を開催し、在宅医療・介護の連携体制の強化に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、各市町の地域ケア会議や介護支援専門員会議等に参画し、課題共有や関係機関等との連携強化に努めます。</li> </ul>
<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と連携していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の研修会に積極的に参加します。薬剤師会の主催する在宅医療研修会を行います。</li> </ul>
<p>[訪問看護ステーション連絡協議会水俣芦北地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回の水俣市訪問看護部会を開催し、情報の共有、事例検討や災害時の連絡方法など確認しています。</li> <li>・八代・水俣・芦北ブロックで、災害時の連絡方法や支援方法などシミュレーションを実施しています。</li> <li>・医療依存度の高い利用者に対し、複数の訪問看護ステーションと連携し訪問を行っている。その中で訪問診療や訪問介護など介護サービスとの連携も行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月毎の訪問看護部会の開催にて情報の共有、事例検討や災害時の事業所間の連携がとれるように必要時話し合いができています。災害時に実践できるように、八代・芦北、水俣地域の連絡シミュレーションもできています。各事業所毎に作成しているBCPの改訂や研修を行い、事業所間の連携方法も明記していくことが課題です。次年度も会議の開催、参加を継続し、連携を深めていきます。地域の訪問看護ステーションで連携して、困難事例でも訪問していきます。</li> </ul>
<p>[水俣芦北郡市歯科医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターの研修会に参加しました。七浦嚙下研修会を実施し関係多職種との関係を構築しました。</li> </ul>	<p>毎回好評な七浦嚙下研修会を本年度も実施予定です。</p>
<p>[栄養士会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県栄養士会等が開催する研修会に積極的な参加を会員に促しました。</li> <li>・また、会員が地域ケア会議に参加し、多職種と連携しながら在宅での食事支援を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議へ参加を継続します。地域ケア会議への参加が限られた会員となっていることが課題なので、人材育成のため派遣人数を増やせるよう努力します。また、在宅医療・介護の連携強化を図るために在宅訪問栄養食事指導に取り組めるようスキルアップを目指します。</li> </ul>
<p>[水俣市地域包括支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市いきいき健康課と水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターと協働し、「医療・介護連携推進会議」を開催しています。医療機関をはじめとする各関係機関との連携体制を構築するとともに、地域のケアマネジャーと関係機関との連携を支援す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居や老々世帯、身寄りがいない（親族が遠方にいる、関係が悪いなどの理由で支援を得られない場合を含む）高齢者が増加しており、単独の機関では支援が困難なケースが増えています。ひとつの世帯が抱える課題が複雑化・複合化する中で、医療や介護分</li> </ul>

	<p>る取組みを進めています。令和6年度には、高齢者の運転免許返納に関する支援、高齢者やその家族による迷惑行為への対応、入院から在宅医療・介護への移行における退院調整など、地域課題や多職種連携について検討を行いました。また、月に1回開催される、いきいき健康課と水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターとの包括的支援事業連絡会においても、情報の共有と連携強化を図っています。</p>	<p>野にとどまらず、子ども、障がい、生活困窮といった分野との連携による重層的な支援が求められています。そのため、多職種間での意見交換や情報共有を促進し、連携を強化することで、包括的ケアの実現に向けた基盤構築に取り組みます。</p>
	<p>[芦北町地域包括支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護の連携強化を図るため、水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターから、介護支援専門員定例会や課題解決型地域ケア会議に参加していただきました。また、水俣ネットワーク会議に参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等を通して、関係機関との情報共有や連携を図ることができました。引き続き水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターと連携し、在宅医療と介護の充実を図ります。</li> </ul>
	<p>[津奈木町地域包括支援センター]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①水俣在宅ネットワーク会議等に参加し、多職種の連携（情報交換や活用）を知り、そのうえで連携を深め、利用者が安心して医療を受けることができるように支援します。</li> <li>②水俣市や芦北町の医療機関、介護等事業所や施設と連携を図り、安心して生活できるよう支援します。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①、②ともに今後継続。</li> </ol>
<p>○水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターにおける社会資源リストの更新、くまもとメディカルネットワーク導入研修、関係機関からの相談、ACPの出前講座等の取組を通し、在宅医療と介護の充実を図ります。さらに、必要時に消防との情報共有・連携を行うことのできる体制を確保します。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度より在宅医療連携体制検討地域会議に消防が参加し、取組等の情報共有を行いました。</li> </ul>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、水俣芦北圏域在宅医療・介護連携支援センターの事業実施を支援します。また、消防と連携し、急変時の対応や看取り等についての情報共有・課題の検討に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携支援センターが作成した、在宅医療パンフレットや人生会議ノートを周知し、在宅医療に関する普及・啓発を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護に関する市民への周知を行います。</li> </ul>
	<p>[津奈木町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任会議支援専門員研修会や介護支援専門員月例会の開催、在宅医療・介護関係職種の研修に対する助成を実施しました。また、地域住民に対する在宅医療・介護に関するアンケート調査を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーや在宅医療・介護関係職種の技術や知識等の向上を図ることができました。助成事業については予算に限りがあるため、全ての事業所に対して実施することができませんでした。次年度以降も継続して取り組むとともに、助成事業の予算確保に取り組みます。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源リストの更新、くまもとメディカルネットワークとメディカルケアステーションの合同研修、関係機関からの相談、人生会議ノートの普及啓発等を行い、在宅医療と介護の充実に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、社会資源リストの更新、くまもとメディカルネットワークとメディカルケアステーションの合同研修、関係機関からの相談、人生会議ノートの普及啓発等を行い、在宅医療と介護の充実に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KMNの導入件数を増やしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、KMN導入を増やしていきます。</li> </ul>
	<p>[訪問看護ステーション連絡協議会水俣芦北地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源リストの更新を実施しました。</li> <li>・くまもとメディカルネットワークの活用。</li> <li>・水俣芦北在宅ネットワーク会議への参加しました。</li> <li>・地域ケア会議への参加しました。</li> <li>・ケアチームによるACPの確認「人生会議ノート」の活用しました。</li> <li>・緊急対応に対して消防へ必要な情報を提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源リスト、くまもとメディカルネットワークは必要時活用できているが、まだまだ一部事業とのやりとりにとどまっており事業所内でも限られたスタッフのみとなっています。今後、学習会に参加して活用方法、操作方法を習得し、その活用の幅を広げていくことが課題です。会議参加で困難事例の検討や振り返りはできています。訪問時に利用者が主体的にACPに取り組むことができるよう、望む医療・ケアを受けその人らしく生きることができるよう支援していきます。訪問看護とはどのようなものか、より多くの人に知ってもらい在宅で利用してもらえるように、地域の人たちにアピールしていくことも課題と考えます。</li> </ul>
	<p>[水俣市地域包括支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービスの利用に関する相談には、社会資源リストを活用し、事業所の説明や案内を行っています。また、水俣芦北圏域在宅医療・介護支援センターが主催する研修会に積極的に参加し、知識やスキルの向上に努めています。さらに、ACPの推進として、特に身寄りのない高齢者に対し、「人生会議ノート」への記入を提案しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者へのACPの一環として「人生会議ノート」の記入を勧めているが、記入に至らないケースが多い現状があります。特に認知症の高齢者においては、意思の表明が難しいことから記入に至らない例が多く見受けられます。さらに、記入してもらえた場合でも、本人や家族、関係者間で内容が共有されず、意思決定支援に十分活用されていないケースも課題となっています。これらの課題を解決するため、地域ケア会議や研修会を通じて、医療・介護・福祉の各分野が連携し、「人生会議ノート」の普及と活用促進に向けた取り組みを検討します。</li> </ul>
		<p>[芦北町地域包括支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くまもとメディカルネットワークの活用の機会がなく、必要時、活用していきます。</li> </ul>

## (6) 救急医療

- 【現状と課題】 ○芦北圏域の救急医療体制は、医師会会員の在宅当番医が休日の初期救急医療を担当し、水俣市にある2か所の救急告示病院が二次救急を担当しています。また、芦北町にある一部の医療機関においても救急患者の受入れを行っています。
- 芦北圏域において、救急出動件数は、平成30年（2018年）が2,220件、令和4年（2022年）が2,342件と増加傾向であり、今後も高齢化による増加が見込まれます。救急車の出動件数に占める軽症者の割合は、平成30年（2018年）が42%、令和4年（2022年）が40.3%と減少しており、全国の救急統計（軽症者搬送率47.3%）と比較しても少ない値であるため、救急車の適正利用は図られていると考えられます。今後も適切な機能・役割分担により、重症度・緊急度に応じた適切な救急医療の提供が必要です。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○医師会や救急告示病院と連携し、夜間や休日等の初期、二次救急医療体制を維持します。		[水俣保健所] ・各市町・医師会・救急告示病院の取組である在宅当番医制度、病院群輪番制病院運営事業に関する取組を支援します。
	[水俣市] ・水俣市芦北郡医師会との委託契約により、在宅当番医の当番日の調整をし、市民に対して情報提供を行いました。これにより、市内医療機関での安定した休日の医療体制を確保することができました。 ・国保水俣市立総合医療センター及び医療法人岡部病院との委託契約により、夜間や休日等の初期、二次救急医療体制を確保することができました。	・今後も医師会の協力を得ながら、在宅当番医制事業、病院群輪番制病院運営事業を実施し、夜間や休日等の初期、二次救急医療体制を確保します。
	[芦北町] ・在宅当番医制事業、病院群輪番制病院運営事業を実施し、休日や夜間等の救急医療体制を確保しました。	・広報紙等を活用して、救急車及び救急医療機関の適正利用等の周知を図ります。
	[津奈木町] ・住宅当番医制事業、病院群輪番制病院運営事業について、水俣市芦北郡医師会並びに国保水俣市立総合医療センター及び医療法人岡部病院と委託契約を締結し休日・夜間の初期、第2次救急医療体制を確保しました。	・住宅当番医制事業、病院群輪番制病院運営事業について、引き続き関係市町及び関係機関と連携して休日・夜間の初期、第2次救急医療体制を確保します。
	[水俣市芦北郡医師会] ・在宅当番医制度を実施し、日曜・祝祭日の初期救急医療体制の確保に努めました。	・今後も引き続き、在宅当番医制度を実施し、日曜・祝祭日の初期救急医療体制の確保に努めます。
	[国保水俣市立総合医療センター] ・水俣芦北広域行政事務組合消防本部と連携しICTツールを活用した画像等情報共有の仕組みを構築しました。	・引き続き連携し、課題に対して協力して解決する、など関係者間の連携を強化します。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者情報等が迅速かつ正確に把握できることからスムーズな救急患者の受け入れにつながりました。</li> <li>・救急救命士育成のための講習へ協力しました。</li> <li>・MCカンファレンスの実施による情報共有、連携を促進しました。</li> </ul>	
	<p>[岡部病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急告示病院、病院群輪番制病院として24時間365日救急医療体制を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革及び物価高騰に対する賃金対応等により、人材確保が非常に困難な状況ですが、今後も救急告示病院・病院群輪番制病院として24時間365日救急医療体制を維持していきます。</li> </ul>
<p>○芦北圏域の現状と課題を踏まえて、適切な機能・役割分担による救急医療体制の強化を図るため、引き続き救急医療専門部会等において、課題を共有し、関係者間の連携を強化します。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、救急医療専門部会を開催し、救急活動概況等の情報共有、関係機関による意見交換を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、救急医療専門部会を開催し、各関係機関の役割の明確化及び連携強化に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会に参加し、関係機関との情報共有、連携に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会に参加し、関係機関との情報共有、連携に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会に参画し、関係機関等との連携強化に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、水俣芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会に参画し、関係機関等との連携強化に努めます。</li> </ul>
		<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局に心肺蘇生器の導入。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北広域行政事務組合消防本部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奇数月に救急症例検証委員会を実施し、偶数月には救急カンファレンスを開催しました。</li> <li>・熊雄と県内12消防本部（局）輪番で行われる救急教育セミナーに参加し、救急に関する知識の共有を図りました。</li> <li>・救急医療専門部会等に、R6年の救急件数等に関する報告を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急カンファレンスの指示症例については、消防だけでなく病院側からの提示もあり、消防と医療機関相互で救急医療に関する知識の習得をさらに深めています。</li> <li>・来年度の救急セミナーは輪番で当消防本部主催となっており、地域のメディカルコントロール協議会と協力し取り組む予定です。</li> </ul>
	<p>[岡部病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療専門部会、水俣芦北地域メディカルコントロール協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも救急医療専門部会、水俣芦北地域メディカルコント</li> </ul>

に参加し、連携の強化を図りました。

ロール協議会等に参加し、更なる連携の強化を継続していきます。

## (7) 災害保健医療福祉

- 【現状と課題】 ○これまで平時からの災害時体制整備に向け水俣・芦北地域災害保健医療対策会議を行ってきましたが、令和5年度(2023年度)から災害時の保健医療ニーズに加え、福祉ニーズも併せて情報共有・連携体制を構築するため、福祉関係機関を追加した「水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議」を開催しています。
- EMISについては、全病院・有床診療所をはじめ、関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部）が登録を行っています。今後は市町や無床診療所とも情報共有ができる体制を構築する必要があります。また、災害時に医療機関の情報収集・提供が円滑に行えるよう研修の継続が必要です。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、関係機関における災害時の取組に係る情報更新を行い、平時からの顔の見える関係づくりに努めます。	[水俣保健所] ・水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、関係機関の取組内容や計画、今後の課題等の共有を行いました。	・引き続き、水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、情報共有や連携を深めていく必要があります。
	[水俣市] ・水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参加し、平時からの顔の見える関係づくりに努めました。	・引き続き、水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参加し、平時からの顔の見える関係づくりに努めます。
	[芦北町] ・令和2年7月豪雨災害を受け、年2回の防災訓練を定例化するとともに、災害時の各課の対応方法を定めた災害時行動マニュアルの策定や避難所運営マニュアルの改訂など、関係各課の動きや連携方法の明確化を図りました。 ・防災訓練では、福祉課と連携した避難行動要支援者の避難訓練や避難を想定した図上訓練を行いました。	・防災訓練を継続して行い、避難行動要支援者の避難訓練や要配慮者利用施設の避難確保計画の実行性確保の取組を進めていきます。
	[津奈木町] ・水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参加し、関係機関における災害時の取組みについて情報共有を行い、平時からの顔の見える関係づくりに努めました。	・引き続き、水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参加し、平時からの連携強化を図ります。
	[水俣市芦北郡医師会] ・水俣芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参画し、関係機関等との連携強化に努めました。	・今後も引き続き、水俣芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参画し、関係機関等との連携強化に努めます。
	[水俣芦北薬剤師会] ・災害専用薬剤師会グループLINEを整備しました。	・日頃から情報共有ができています。引き続き行います。

	<p>[熊本県看護協会水俣芦北支部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/3保健所主催の水俣・芦北地域看護管理検討会「災害時の看護」研修会を開催し、災害医療提供体制、令和2年7月豪雨被災体験を活かした取組み、能登半島地震における活動報告の3事例発表後、意見交換を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21施設50名の参加があり、「災害に対する備えと初動体制について」意見交換を行い、それぞれの課題が明確になりました。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北郡市歯科医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議への参加、その後に会員に対しての研修会を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科医師会のWEB研修会を実施予定です。</li> </ul>
	<p>[芦北町地域包括支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度水俣・芦北地域災害保健医療福祉対策会議に参加しました。</li> <li>・能登半島地震の被災者支援として、ボランティアセンターや1.5次避難所へ職員を派遣しました。</li> </ul>	
<p>○市町及び無床診療所のEMIS登録を進め、災害時の情報共有の円滑化を図ります。EMISの操作研修を年1回以上実施し、医療機関及び関係団体の災害時の情報提供・収集の円滑化を図ります。また、災害時に迅速な活動に取り組めるよう、県や市町が実施する防災訓練に参加します。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町のEMIS登録を行いました。</li> <li>・県総合防災訓練及び水俣市防災フェスタに参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に円滑に情報共有を行うため、EMIS新システム導入（R7年度）に伴い、EMIS操作研修を実施する必要があります。</li> <li>・引き続き、県総合防災訓練及び水俣市防災フェスタに参加し、関係機関との連携に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合防災訓練に参加、及び、水俣市防災フェスタ（市総合防災訓練を兼ねる）を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の初動対応の手順を確認するとともに、関係機関・団体等との連携を確認できました。</li> <li>令和7年度は11月9日（日）に水俣市防災フェスタを実施予定。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療救護班（水俣地区：5班、芦北地区：3班）を編成し、有事の</li> <li>・水俣市が実施する防災フェスタに参加し、遠隔医療訓練を行い、災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、医療救護班を編成し、有事の際に備えます。</li> <li>・今後も引き続き、防災フェスタ等へ参加し、災害時の対応について検討を行います。</li> </ul>

<p>[熊本県看護協会水俣芦北支部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援ナース研修6名受講しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興感染症を含めた研修の受講が進んでいます。今後も受講を進めてまいります。</li> </ul>
<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害薬事コーディネーター研修会開催（県薬）しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害薬事コーディネーター研修会の開催します。</li> </ul>
<p>[国保水俣市立総合医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星電話の定期的な通信確認、訓練を実施しました。</li> <li>・DMATチームを中心とした災害時の大量傷病者受入訓練を実施し</li> <li>・被災地へのDMATメンバーを派遣しました。</li> <li>・研修、訓練の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、定期的な訓練等を実施し災害時への対応に備えます。</li> </ul>
<p>[栄養士会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣保健所主催で管内栄養士を対象に研修会が開催され、近隣施設間での伝達訓練を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達訓練の継続、また会員が所属する施設での災害対策マニュアル整備、災害時の迅速な食支援活動体制を整備します。</li> </ul>
<p>[芦北町地域包括支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの検証と見直しを行いました。</li> <li>・消防避難訓練を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの定期的な見直しを行います。</li> <li>・消防避難訓練を実施します。</li> </ul>

## (8) 新興感染症の発生・まん延時における医療

- 【現状と課題】 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、芦北圏域の医療関係者と連携し、入院・外来医療提供体制の確保を行いました。一方で、圏域内で確保病床を有する医療機関は、感染症指定医療機関の1か所しかなく、特に感染者が増加した時期やクラスター発生時には診療を制限せざるを得ない状況も生じました。
- 新興感染症発生時においては、感染症指定医療機関の医療提供体制を十分確保することが重要であり、このためには、圏域内の医療機関の役割分担を徹底し、感染症指定医療機関の負担を軽減する必要があります。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
○熊本県感染症予防計画を踏まえ策定する健康危機対処計画に基づき、保健所内の体制整備及び関係機関との連携を図ります。	[水俣保健所] ・健康危機対処計画（感染症編）について、保健所内の体制整備及び関係機関との連携を踏まえ、2月に策定しました。	・健康危機対処計画に基づき、新興感染症発生時における関係機関との連携について努めます。
	[水俣市] ・現在作成している「水俣市新型インフルエンザ等行動計画」に基づき、関係機関との連携を図っています。	・令和6年度新型インフルエンザ等政府行動計画の改訂され、県の行動計画の改訂がなされていることやこれまでの本市の新型コロナウイルス感染症対応の検証を踏まえ、見直しが必要なことから、令和7年度、新型インフルエンザ等行動計画について改定予定です。
	[水俣市芦北郡医師会] ・郡市医師会感染症担当理事連絡協議会等に参加し、情報共有に努めました。	・今後も引き続き、郡市医師会感染症担当理事連絡協議会等に参加し、情報共有に努めます。
○芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会（健康危機管理推進会議）において、新興感染症発生時の医療提供体制の検討及び情報共有に努めます。また、感染症指定医療機関である国保水俣市立総合医療センターが行う感染対策連携カンファレンスにおいて、日頃から各医療機関との連携強化を図ります。	[水俣保健所] ・芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会（健康危機管理推進会議）を開催し、改正地域保健法に基づく健康危機対処計画（感染症編）及び今年度の健康危機管理に対する取組の共有を行いました。 ・国保水俣市立総合医療センターが実施する感染対策連携カンファレンスに参加し、各医療機関と連携し新興感染症訓練を行いました。	・引き続き、芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会（健康危機管理推進会議）を開催し、新興感染症発生時の医療提供体制の検討及び情報共有に努めます。 ・引き続き感染対策連携カンファレンスに参加し、各医療機関との連携強化に努めます。
	[熊本県看護協会水俣芦北支部] ・10/12熊本県看護協会共催研修「感染管理・基礎編」開催しました。	・参加者9名 参加者が少なかったです。新型コロナウイルス感染症後各施設での研修が実施されたことも影響していると考えます。要望確認しながら継続していきたいと思えます。
	[水俣市] ・芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会に参加し、情報の共有に努めました。	・引き続き、芦北地域保健医療推進協議会救急医療専門部会に参加し、関係機関との情報共有に努めます。

	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症指定医療機関である国保水俣市立総合医療センターが開催する感染対策連携カンファレンスに参画し、知識の習得及び関係機関等との連携強化に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、感染対策連携カンファレンスに参画し、知識の習得及び関係機関との連携強化に努めます。</li> </ul>
	<p>[国保水俣市立総合医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策連携カンファレンスのほか、地域の医療機関や介護施設と連携し、訪問調査や感染対策に係る研修、受入訓練等を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、感染症指定医療機関としての取組を推進します。</li> </ul>
<p>○消防、医療機関と連携し、新興感染症発生を想定した訓練を行い、日頃から関係機関との役割の明確化、連携強化に努めます。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防本部との協定に基づきエボラ出血熱患者等移送訓練を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度策定の健康危機対処計画（感染症編）を踏まえ、消防、医療機関等と連携し、新興感染症発生を想定した訓練の実施に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣市芦北郡医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症研修会を開催し、知識の習得及び関係機関等との連携強化に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、感染症研修会を開催し、知識の習得及び関係機関等との連携強化に努めます。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北薬剤師会]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興感染症を想定した研修会の開催、備蓄の整備を行います。</li> </ul>

## (9) 歯科保健医療

### 【現状と課題】

○令和3年度（2021年度）における3歳児のむし歯有病率は26.4%で、県平均の16.6%より高く、乳幼児期の早期から歯科保健指導やフッ化物歯面塗布等のむし歯予防の取組が必要です。

○12歳児の一人平均むし歯本数は徐々に少なくなっていますが、令和4年度（2022年度）は0.93本と県平均の0.77本より高い状況です。また、令和4年度（2022年度）における保育施設でのフッ化物洗口実施率は56%で、県平均の68.3%より低く、保育施設から中学校まで継続したフッ化物洗口の実施が必要です。

○健康増進事業における歯周疾患検診は、2市町が実施しています（令和5年度）。全市町が検診を実施することで、身近な地域で歯周疾患検診及び歯科保健指導を受けることができる体制を構築する必要があります。

取組の方向性	取組内容（令和6年度）	成果及び課題と次年度以降の取組方針
<p>○3歳児のむし歯有病率を改善するため、妊娠期及び乳幼児期の早い段階から歯磨きや適切な食生活習慣の充実に取り組みくりに取り組みます。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科医師会や歯科衛生士会、栄養士会等と連携し、歯科保健に関するイベントを3回（うち1回はくまモン来場）開催し、無料のフッ素塗布や歯科相談等を実施しました。</li> <li>・ 令和6年6月に水俣・芦北地域歯科保健連絡会幹事会を開催し、会議の中で芦北町の新規事業「1歳児歯科検診」について他市町に情報共有する機会を設けました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントへの合計参加者数（延）：約200名（くまモン来場時には、100名程度集客あり）</li> <li>・ 引き続き歯科保健連絡会やイベント等を通して、住民に歯磨きや適切な食生活習慣の普及啓発を行います。関係機関と顔の見える関係性を構築し、1歳から定期的なフッ化物塗布ができる環境づくりに取り組みます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子健康手帳交付時に妊婦への歯科健康診査の受診勧奨、適切な食生活についての指導を行いました。</li> <li>・ 1歳6か月児検診及び3歳6か月児検診で、歯科検診、フッ化物塗布、歯科指導を行いました。</li> <li>・ 保育施設では新規に2園が実施となり、5園でフッ化物洗口を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R4年度の1歳6か月児と3歳児のむし歯保有者率は共に県と比して高い状況です（1歳6か月児：水俣市4%県1.21%、3歳児：水俣市27.67%県14.82%）。</li> <li>・ 3歳児のむし歯保有者率を改善するために、今後も妊娠期及び乳幼児期への歯磨きや適切な食習慣の充実にに向けた取組みを継続実施します。</li> <li>・ R5年度の保育施設でのフッ化物洗口実施率は、23.1%と県内で最低の状況です。今後も歯科医師会や県などの関係機関と連携し、フッ化物洗口実施率向上のための取組を行う必要があります。</li> </ul>
	<p>[芦北町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科疾患等に関する知識を普及啓発し、むし歯予防のための食生活や生活週間について保護者が正しく学ぶ機会をつくり、学びを実践できるように1歳児歯科検診を始めました。また、歯の発達に応じた歯科ブラッシングや口腔ケア指導を行うとともに、併せて幼児フッ化物塗布の1回目を実施し、健全な歯・口腔の育成を図りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月検診時点で、受診率100%となっています。R6同様に、次の内容でR7以降も実施します。</li> <li>①歯科検診（歯科医師による検診）</li> <li>②フッ化物塗布（歯科衛生士による幼児フッ化物塗布事業1回目を実施）</li> <li>③歯科口腔保健指導（歯科衛生士による個別実践指導）</li> </ul>

	④食事指導（管理栄養士による食事のポイント指導）
[津奈木町] ・ 1歳6か月児検診、2歳児歯科検診において、希望者にフッ化物塗布を実施しました。	・引き続き、関係機関と連携を取りながらフッ化物塗布事業を実施します。
[水俣市芦北郡医師会] ・ 歯科保健連絡会に参画し、情報共有及び関係機関等との連携強化に努めました。	・今後も引き続き、歯科保健連絡会に参画し、情報共有及び関係機関等との連携強化に努めます。
[水俣芦北郡市歯科医師会] ・ 1歳児及び3歳6か月検診時にブラッシング及びおやつ摂取について指導、また希望者にはフッ素塗布を行いました。	・フッ素に対して一部の保護者の理解が得られませんでした。
[熊本県歯科衛生士会水俣芦北郡支部] ・ 1歳半検診、3歳児検診時、フッ素塗布を行いました（希望者のみ）。 ・ 保育園、幼稚園でフッ化物洗口を実施しました。	・ 1歳半、3歳児検診だけでなく、毎年5月に「歯っぴい〜♪健康広場」、11月「水俣市健康まつり」「芦北町健康フェス」などで、歯科保健指導、フッ素塗布を実施していきます。
[栄養士会] ・ 「歯っぴい〜♪健口広場」において栄養相談を実施しました。また、歯に良いおやつのレシピとサンプル（見本のみ）を紹介し、噛むことの大切さについて啓発しました。	・ 歯によいおやつは大人でも楽しめるよう工夫しました。レシピだけではなく、実際にどのような仕上がりになるのかサンプルを用意していたので小さい子どもさんを持つお母さま方は参考になったと喜ばれました。次年度は、栄養士会会員の人員を増やし活動を広げます。
[水俣市保育協会] ・ 正しい歯磨きの定義を目的とした外部講師によるブラッシング指導や、乳幼児期から就学前の子どもたちに対する定期的な歯科検診を実施しました。	・ 次年度以降も継続して実施します。
[葦北郡保育協会] ・ 全園における歯磨き及びフッ素洗口を実施しました。	・ 年齢によってはフッ化物の「すすぎ」や「うがい」等の自主的な運動が困難なため、効率良く洗口できる方法を検討します。
[水俣市私立幼稚園協会] ・ 園内にて、むし歯予防の紙芝居の読み聞かせ後、歯ブラシを使っての個々への歯磨き指導を行いました。 ・ 歯科検診後、検診結果を保護者に知らせ、治療が必要な場合は病院受診をお願いしました。	・ 歯磨き指導後、歯ブラシの持ち方など子ども達が意識して行うようになりました。歯磨き指導の回数を増やしていくことが今後の課題です。 ・ むし歯の治療に行き、むし歯ゼロになる子が増えました。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食後、歯磨きの時間に職員も子どもと一緒に歯磨きを行い、その都度声掛けを行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し伝えることによって、子ども達も意識して歯磨きを行う姿が見られるようになりました。引き続き声掛けを行っていきます。</li> </ul>
<p>○12歳児のむし歯予防対策の推進のため、保育施設でのフッ化物洗口実施率80%を目指します。また、小・中学校の効果的なフッ化物洗口の実施に努めます。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町を通して保育施設のフッ化物洗口の実施状況を確認しました。また、令和6年9月に水俣市の歯科保健担当者と今年度の取組みについて打ち合わせを実施しました。</li> <li>令和6年10月時点の実施率：54.5% (芦北町・津奈木町100%、水俣市23.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年10月時点の管内のフッ化物洗口実施率は、54.5%であり、令和5年度の実施率52.5%より増加しています。</li> <li>各市町への実施状況の確認や打ち合わせ等を通して、実施施設の現状を把握することができました。</li> <li>フッ化物洗口実施の継続・定着を図るとともに、実施施設の増加に向けた働きかけが必要となります。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校においては、全校でフッ化物洗口を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校においても教育課や小中学校と連携し継続実施する必要があります。</li> </ul>
	<p>[芦北町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希望者を対象に、保育施設にて週5回法、小中学校にて週1回法でフッ化物洗口を実施しました。(洗口を希望しない児及び生徒に対しては、水うがいを実施しました。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や保育施設と連携し、実施を継続していきます。フッ化物事業のほか、各家庭でのむし歯予防啓発が課題です。</li> </ul>
	<p>[津奈木町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内の保育園(2園)、小・中学校(各1校)において、フッ化物洗口事業を実施しました。希望する学校において、歯科衛生士による歯みがき指導(健康教育)を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、関係機関と連携を取りながらフッ化物洗口事業を実施します。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北薬剤師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校薬剤師におけるフッ化物洗口を支援しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校薬剤師におけるフッ化物洗口を支援します。</li> </ul>
	<p>[芦北教育事務所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、歯科保健指導を学校保健年間指導計画に位置付け、指導の充実を図っています。</li> <li>管内の全ての小中学校において、フッ化物洗口を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、「フッ化物洗口実施手順」に基づいて確実に実施できました。</li> <li>関係機関と連携し、各学校の実態に応じたより効果的な実施について指導・助言等を行います。</li> </ul>
	<p>[水俣芦北郡市歯科医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水俣市の保育施設に対しフッ素洗口についての説明会を実施しました。希望する施設に対しては具体的に導入についての説明会を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少数の施設が導入についての検討がなされ、実施の方向で進んでいます。</li> </ul>
	<p>[熊本県歯科衛生士会水俣芦北郡支部]</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校でフッ化物洗口を実施しました。</li> <li>・小中学校で、むし歯予防教室を実施しました。染め出しやブラッシング指導を行いました。</li> </ul>	
	<p>[葦北郡保育協会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的達成のため、フッ化物洗口講習会等を自治体と連携して実施し、フッ化物洗口の重要性を子ども・保護者・保育所職員の三者で共有しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の方針によっては洗口の実施に至らない園児も見受けられるため、フッ化物洗口の有効性について家庭の理解を得られるように今後も働きかけを積極的に行います。</li> </ul>
<p>○成人期において、健康増進事業における歯周疾患検診の全市町での実施と、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科検診や歯石除去・歯科保健指導を受ける必要性についての普及啓発に取り組めます。</p>	<p>[水俣保健所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県口腔保健支援センターと連携し、歯周疾患検診未実施である津奈木町へのヒアリングに同行予定。</li> <li>・「歯と口の健康週間」等の歯科保健に関するイベントの際に、Xで歯科に関する普及啓発を行いました。</li> <li>・他機関と連携し、歯科保健に関するイベントを3回開催し、歯科相談等を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津奈木町へのヒアリングを通して、検診未実施の理由を把握することができました。</li> <li>・全市町での歯周疾患検診が実施できていないため、熊本県口腔保健支援センターと連携しながら実施に向けた支援を検討していきます。</li> <li>・「歯と口の健康週間」やその他イベント等の機会を活用し、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発を図っていきます。</li> </ul>
	<p>[水俣市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市国保歯周疾患検診（20才以上の国民健康保険加入者を対象とした歯周疾患検診）を7月から実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報やホームページへの掲載等で周知を実施しているが、対象者への認知度が低く、受診者が少ない状況です。成人期の歯周疾患予防の為に、かかりつけ歯科医で定期的な歯科検診を受ける必要性の普及啓発や歯周疾患検診受診者数の増加へ向けた取組みを行う必要があります。</li> </ul>
	<p>[芦北町]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣芦北歯科医師会へ委託し、町内の歯科医院で妊婦歯科健康診査を実施しました。</li> <li>・水俣芦北歯科医師会へ委託し、町内の歯科医院で歯科健康診査を実施しました。健康増進事業として年度末年齢が20、30、40、50、60、70歳を対象に実施しました。</li> </ul> <p>[水俣芦北郡市歯科医師会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市及び芦北町で成人に対して歯周病検診を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健康診査の受信者数が増えないため、母子健康手帳交付時や妊娠中期の電話連絡の機会を利用し、歯科検診受診の必要性について伝えていきます。</li> <li>・受診者数は増減を繰り返しながら現状を維持しているため、引き続き歯や口の健康についての大切さを伝え、受診勧奨を行います。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診される人数が少なく、今後いかに増やしていくかが課題となります。</li> </ul>
	<p>[熊本県歯科衛生士会水俣芦北郡支部]</p>	

・高齢者にはサロン等の集りで年一回無料検診があることを知らせて行ってもらうように勧めました。

[葦北郡保育協会]

・むし歯予防に関する保健だより等を保護者に配布し、各園における歯磨き講習会等を開催するなどして、意識向上のための啓発活動を行いました。

・子供によってはむし歯を多数有する場合もあるため、家庭内での保護者による仕上げ磨きの重要性を伝える取組みや、嘱託歯科医や自治体担当課職員による歯磨き指導などを行うことも検討していきます。